

第9学年 国語科

	単元	観 点	評 価 項 目	時数
1 学 期	○「生命は」	国語への関心・意欲・態度	詩の言葉の意味に注意して読み取り、意欲的に音読や朗読に取り組もうとしている。	1
		読む能力	文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現の工夫に注意して読んでいる。C(1)ア	
		国語への関心・意欲・態度	対句などの表現技法を理解している。伝国(1)イ(イ)	
	1言葉を磨く ○「二つのアザミ」	国語への関心・意欲・態度	捉えようとしている。	1
		読む能力	対比的な表現などに注意して筆者の主張を捉えている。C(1)ア	
	○「俳句の読み方、味わい方」	国語への関心・意欲・態度	俳句を積極的に音読し、好きな俳句を選んで考えをまとめようとしている。	2
		読む能力	俳句の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読んでいる。C(1)ア 表現の工夫など、その俳句の良さを評価して鑑賞文にまとめている。C(1)ウ	
	書く[詩歌創作] ○「俳句を作って句会を開こう」	国語への関心・意欲・態度	俳句を作り、句会に積極的に参加しようとしている。	2
		書く能力	書いた俳句を互いに読み合い、情景や心情の表し方、表現の新鮮さなど、作品の良さを見つけて評価している。B(1)エ	
	言葉[日本語体験1] ○「和語・漢語・外来語」	国語への関心・意欲・態度	和語・漢語・外来語に関心を持ち、区別して使い分けようとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	和語・漢語・外来語の区別を理解し、使い分けている。伝国(1)イ(イ)	
	○「間違えやすい敬語—おかしな敬語を見つけだせ」(1)	国語への関心・意欲・態度	自らの日常の言語活動を振り返り、言葉のきまりを見出そうとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	敬語について理解を深め、場面や相手によって正しく使い分けている。伝国(1)イ(ア)	
	2作品を論じる 読む[文学—] ○「形」	国語への関心・意欲・態度	登場人物の設定の意味をとらえ内容を読もうとしている。	3
		読む能力	解に役立てている。C(1)イ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	
		言語についての知識・理解・技能	時間の経過による言葉の変化を理解している。伝国(1)イ(ア)	
○「百科事典少女」	国語への関心・意欲・態度	登場人物の設定に注意して場面ごとの人物の思いを捉えようとしている。	3	
	読む能力	登場人物の設定に注意して場面ごとの人物の思いを捉えている。C(1)イ 作品の最後の部分の意味や効果について、考えたことを挙げている。C(1)ウ		
	言語についての知識・理解・技能	言葉・漢字の課題に取り組み、語彙を豊かにしている。伝国(1)イ(イ)		
話す・聞く[聞く] ○評価しながら聞こう	国語への関心・意欲・態度	複数の意見を聞き、意欲的に評価しようとしている。	2	
	話す・聞く能力	さまざまな観点から評価しながらスピーチを聞き、自分の考えをまとめている。A(1)ウ		
言葉[日本語探検2] ○連語・慣用句	国語への関心・意欲・態度	連語や慣用句についての学習に意欲的に取り組んでいる。	1	
	言語についての知識・理解・技能	連語や慣用句について理解している。伝国(1)イ(イ)		

1 学期	言葉[漢字道場] ○熟語の構成・熟字訓	国語への関心・意欲・態度	熟語や熟字訓の構成や成り立ちに関心を持ち、意味を理解しようとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	二字熟語と三字熟語の構成や熟字訓について理解している。伝国(1)イ(ア)(イ)	
	3文章の展開を考える 読む[構成・展開] ○絶滅の意味	国語への関心・意欲・態度	語句の意味を考えながら大意を捉えようとしている。	3
		読む能力	文章の論理の展開の仕方をとらえ、内容の理解に役立てている。C(1)イ 「現代の絶滅」を引き起こしてきた人間社会の在り方と、生態系の維持との関係について、自分の意見を持っている。C(1)エ	
		言語についての知識・理解・技能	言語・漢字の課題に取り組み、語彙を豊かにしている。伝国(1)イ(イ)	
	学びの扉1 ○「論理的に読む」	国語への関心・意欲・態度	論理的に読むための三つの関係を理解し、文章を論理的に読もうとしている。	1
		読む能力	論理的に読むための三つの関係を理解し、文章を論理的に読んでいる。C(1)イ	
	学びの扉2 ○「素材を生かして表現する」	国語への関心・意欲・態度	体験と知識を関連づけながら素材を探して表現に生かそうとしている。	1
		書く能力	体験と知識を関連づけながら素材を探して表現に生かすことについて理解している。B(1)ア	
	書く[伝達] ○「編集して伝えよう—『環境』のミニ雑誌」	国語への関心・意欲・態度	調べたことをまとめ直したり、体験を具体的に描写したりして、内容を膨らませるとともに、文章の形式を選んで構成を工夫して書こうとしている。	5
書く能力		下書きを推敲し、丁寧に清書して誌面を仕上げている。B(1)ア・ウ		
言語についての知識・理解・技能		既習の漢字を文章の中で適切に使っている。伝国(1)ウ(イ)		
2 学期	言葉[漢字道場2] ○「四字熟語」	国語への関心・意欲・態度	四字熟語の構成や成り立ちに関心を持ち、意味を理解しようとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	四字熟語を正しく読み、意味を理解している。伝国(1)イ(イ) 第8学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字を大体読み、文や文章の中で使い慣れている。伝国(1)ウ(ア)(イ)	
	読む[読書] ○「落語の秘密」	国語への関心・意欲・態度	本の読み広げ方を考え、適した本を探そうとしている。	2
		読む能力	本の読み広げ方を考え、適した本を探している。C(1)オ	
		言語についての知識・理解・技能	学習した漢字を正確に読んでいる。伝国(1)ウ(ア)	
	4多面的に検討する 読む[吟味・判断] ○「黄金の扇風機」 ○「サハラ砂漠の茶会」	国語への関心・意欲・態度	文章を読み比べて、構成や展開、表現の仕方について比較しようとしている。	4
		読む能力	又草を読み比べて、構成や展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 読み比べたことを踏まえて、美しさや「美」について自分の考えをまとめている。C(1)エ	
		言語についての知識・理解・技能	言語・漢字の課題に取り組み、語彙を豊かにしている。伝国(1)イ(イ)	
	学びの扉3 ○「比較する」	国語への関心・意欲・態度	比較の観点や、比較の対象を的確に挙げようとしている。	1
		書く能力	比較の観点や、比較の対象を的確に挙げている。B(1)ア	

2 学 期	書く[論証・説得] ○「観察・分析して論じよう—批評文」	国語への関心・意欲・態度	批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下そうとしている。	5
		書く能力	根拠を具体的に記述して、結論が明快に伝わるように論の進め方を工夫するとともに、資料を参考にしたり引用したりして生かしている。B(1)イ 批評文を互いに読み合って論理の展開の仕方や表現の仕方などを評価し、ものの見方や考え方を深めている。B(1)エ	
		言語についての知識・理解・技能	既習の漢字を文章の中で適切に使っている。伝国(1)ウ(イ)	
	学びの扉4 ○「目的や相手に応じて説明する」	国語への関心・意欲・態度	説明の目的や相手に応じて、不必要な情報や不足している情報を挙げようとしている。	1
		話す・聞く能力	説明の目的や相手に応じて、不必要な情報や不足している情報を挙げている。A(1)ア	
	話す・聞く[話す] ○場面に応じて話そう—条件スピーチ	国語への関心・意欲・態度	目的や相手、時間に応じて自分の経験や知識を再構成し、利き手に分かりやすい語句を選んで話そうとしている。	3
		話す・聞く能力	目的や相手、時間に応じて自分の経験や知識を再構成し、利き手に分かりやすい語句を選んで話している。A(1)ア 敬語を適切に使い、場の状況や相手の様子に応じて言い換えや補足をするなど、工夫して話している。A(1)イ	
		言語についての知識・理解・技能	場の状況や相手に応じて、敬語を適切に使っている。伝国(1)イ(ア)	
	言葉[文法の窓2] ○「曖昧な文・分かりづらい文—メールの真相」	国語への関心・意欲・態度	自らの日常の言語活動を振り返り、分かりやすい文の書き方について考えようとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	文の意味が曖昧で分かりづらくなる原因を知り、曖昧さを回避する手立てを理解している。伝国(1)イ(イ)	
	言葉[漢字道場] ○送り仮名	国語への関心・意欲・態度	送り仮名のつけ方の原則を理解しようとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	送り仮名のつけ方の原則と例外とを理解して、送り仮名を正しく使っている。伝国(1)ウ(ア)(イ)	
読む[詩] ○「初恋」	国語への関心・意欲・態度	情景や心情にふさわしい朗読を工夫し、発表しようとしている。	1	
	読む能力	七五調の文語詩という表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら読んでいる。C(1)ア		
	言語についての知識・理解・技能	時間の経過による言葉の変化を理解している。伝国(1)イ(ア)		
○「万葉・古今・新古今」	国語への関心・意欲・態度	古典作品に関心をもち、古文を意欲的に読み、現代語訳をもとに大意をとらえ、登場人物や作者の思いを考えようとしている。	3	
	読む能力	和歌の意味や修辞、歴史的な背景などに注意して和歌を読み、その世界に親しんでいる。C(1)ウ		
	言語についての知識・理解・技能	歴史的な背景などに注意して和歌を読み、和歌の世界に親しんでいる。伝国(1)ア(ア)		
○「おくのほそ道」	国語への関心・意欲・態度	古典作品に関心をもち、古文を意欲的に読み、現代語訳をもとに大意をとらえ、登場人物や作者の思いを考えようとしている。	3	
	読む能力	作品冒頭や平泉の場面から芭蕉の思いを読み取っている。C(1)イ 構成や表現の特徴について、気付いたことを挙げている。C(1)ウ		
	言語についての知識・理解・技能	歴史的な背景などに注意して古典を読み、その世界に親しんでいる。伝国(1)ア(ア)		

2 学 期	○「論語」	国語への関心・意欲・態度	それぞれの言葉に表れている考えを捉えた上で、当てはまるような自己の体験や事例を挙げようとしている。	3
		書く能力	古人の言葉を引用し、自分の考えを書いている。伝国(1)ア(イ)	
		言語についての知識・理解・技能	古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書いている。伝国(1)ア(イ)	
	言葉[日本語探検3] ○「言葉の移り変わり」	国語への関心・意欲・態度	音声の変化、文法の変化、語彙の変化など、言葉の変化について理解しようとしている。伝国(1)イ(ア)	1
言語についての知識・理解・技能	音声の変化、文法の変化、語彙の変化など、言葉の変化について理解している。伝国(1)イ(ア)			
言葉[文法の窓3] ○文法のまとめ—怪盗Xからの挑戦状」	国語への関心・意欲・態度	文節や単語、品詞や活用形などについて理解し、文法的な性質の異なる語を見分けようとしている。伝国2年(1)イ(エ)	1	
言語についての知識・理解・技能	文節や単語、品詞や活用形などについて理解し、文法的な性質の異なる語を見分けている。伝国2年(1)イ(エ)			
6 関 係 を 読 む 読 む [文 学 二] ○「故郷」	国語への関心・意欲・態度	文章の構成や展開、登場人物像や人間関係の変化を捉えようとしている。	5	
	読む能力	小説中の人物に触れながら、社会の中で生きる人間の姿について、自分の意見を持っている。C(1)エ		
	言語についての知識・理解・技能	言語・漢字の課題に取り組み、語彙を豊かにしている。伝国(1)イ(イ)		
3 学 期	学びの扉5 ○「人物どうしの関係に着目する」	国語への関心・意欲・態度	人物の特徴や、人物どうしの関係の変化を捉え、変化の理由や背景を考えようとしている。	1
		読む能力	人物の特徴や、人物どうしの関係の変化を捉え、変化の理由や背景を考えている。C(1)イ	
	言葉[漢字道場4] ○紛らわしい漢字	国語への関心・意欲・態度	形の似通った漢字に関心を持ち、使い分けようとしている。	1
		言語についての知識・理解・技能	形の似た漢字について違いを理解し、書き分けている。伝国(1)ウ(ア)(イ)	
	読む[読書] ○「何のために『働く』のか」	国語への関心・意欲・態度	読書に関心を持ち、全文を読んで感想を持つようとしている。	2
		読む能力	目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりしている。C(1)オ	
		言語についての知識・理解・技能	学習した漢字を正確に読んでいる。伝国(1)ウ(ア)	
	7 思 い を 馳 せ る 読 む [言 葉 と メ デ ィ ア] ○「いつものように新聞が届いた—メディアと東日本大震災」	国語への関心・意欲・態度	情報の意義とメディアの役割について考えようとしている。	3
		読む能力	読み取ったことを踏まえて、災害時における情報の価値やメディアの役割、伝え続けることの意義について考えたことを挙げている。C(1)エ	
		言語についての知識・理解・技能	学習した漢字を正確に読んでいる。伝国(1)ウ(ア)	
学びの扉6 ○「合意を形成する」	国語への関心・意欲・態度	対立する意見の共通点や、それぞれのよいところを見つけたうえで、新しい案をまとめてようとしている。	1	
	話す・聞く能力	対立する意見の共通点や、それぞれのよいところを見つけたうえで、新しい案をまとめている。A(1)エ		
話す・聞く[話し合う] ○「話し合いで問題を解決しよう—チャート式討論」	国語への関心・意欲・態度	異なる意見にも共通点を見つけようとし、問題解決のためにお互いの意見のよいところを生かそうとしている。	1	

	話す・聞く能力	論点を明らかにし、議論の順序をチャートに整理するとともに、話し合いの方向を捉え、必要に応じて軌道修正している。 A(1)エ 異なる意見にも共通点を見つけようとし、問題解決のためにお互いの意見のよいところを生かし合っている。 A(1)エ	
書く[感性・創造] ○「今の思いをまとめよう —時を超える手紙」	国語への関心・意欲・態度	学習活動の見通しを持ち、楽しみながら書こうとしている。	4
	書く能力	中学校生活や将来について自分の思いを見つめ直し、書きたい内容を絞って手紙にまとめている。 B(1)ア :書いた文章を読み返し、文章全体の流れや個々の表現、手紙の書式を整えて読みやすい文章にしている。 B(1)ウ	
	言語についての知識・理解・技能	既習の漢字に加え、新出漢字を正確に読んでいる。 伝国(1)ウ(イ)	
言葉[漢字道場5] ○「間違いやすい言葉」 (1)	国語への関心・意欲・態度	読み間違いやすい言葉や書き間違いやすい言葉について関心を持ち、読んだり書いたりしようとしている。	5
	言語についての知識・理解・技能	読み間違いやすい言葉や書き間違いやすい言葉を正しく理解して、読んだり書いたりしている。 伝国(1)ウ(ア)・(イ)	
読む[詩] ○「レモン哀歌」 ○「生ましめんかな」	国語への関心・意欲・態度	効果的な言葉の使い方に注意して詩を読もうとしている。	2
	読む能力	詩の言葉で心に残ったところを挙げ、そこにどんな表現効果を感じられるかを指摘している。 C(1)ア この詩に描かれている生と死について考え、感想をまとめている。 C(1)エ	
	言語についての知識・理解・技能	効果的な言葉の使い方に注意して詩を読み、語感を磨き語彙を豊かにすること。 伝国(1)イ(イ)	
読む[読書] ○「最後の一句」	国語への関心・意欲・態度	読書に関心を持ち、全文を読んで感想を持つようとしている。	2
	読む能力	文章を読んで、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持っている。 C(1)エ	
	言語についての知識・理解・技能	時間の経過による言葉の変化を理解している。 伝国(1)イ(ア)	